

いろいろなことがありました

二〇〇一年の十大ニュース・主なできごと



4月に開学した鳥取環境大学



在宅障害者福祉の拠点施設「さわやか会館」オープン



シユモクザメの出現で遊泳禁止となった海水浴場



若桜街道商店街のアーケード完成を祝うパレード



着工した江山浄水場の完成予想図



全国大会で準優勝した鳥取北中の新体操チーム

2001年鳥取市政十大ニュース

順位	項目	内容
1	鳥取環境大学の開学（4月）	鳥取環境大学が4月に開学。21世紀の課題である環境をテーマとした大学で、環境問題に取り組む人材の育成をめざす。第1期生は、全国41都道府県から469人が入学し、順調なスタートをきった。
2	鳥取市・ハーナウ市姉妹都市提携（11月）	ドイツ・ハーナウ市よりマルグレート・ヘルテル市長を団長とする訪問団（総員4人）が来鳥。11月20日、鳥取・ハーナウ両市の姉妹都市提携の調印式を行った。
3	第7次鳥取市総合計画のスタート（6月）	昨年8月から鳥取市総合企画委員会を中心に策定作業を進めていた「第7次鳥取市総合計画」が6月定例市議会で議決された。「みんなでつくる明るくにぎわいのあるまち鳥取」をめざし、新たな時代の潮流に対応する6つのプロジェクトを掲げ、ハード・ソフト両面にわたる総合的なまちづくりがスタートした。
4	鳥取市障害者福祉センター「さわやか会館」オープン（5月）	5月22日、かねてから建設を進めていた鳥取市障害者福祉センターが完成。デイサービス事業、リハビリプール、生活支援事業、家族支援事業など在宅障害者福祉の拠点施設となる。
5	不況の波 鳥取へ（ダイエー撤退、鳥取三洋電機リストラへ）	2月に大手スーパーダイエーの鳥取駅南店が閉鎖、11月には世界的なIT不況から鳥取三洋電機がリストラを本格化させるなど不況の波が鳥取市をおそってきた。
6	市民政策コメント制度スタート（1月）	1月1日から、市民参画の行政運営を推進するため、政策形成課程で、市民の意見等を提出してもらおう「市民政策コメント制度」がスタート。全国都市部では初の試み。
7	鳥取県沖にシユモクザメ出現 海水浴場の打撃（8月）	鳥取県東部の沿岸部にシユモクザメが相次いで確認され、市内の海水浴場も遊泳禁止となった。市では、関係者とサメ対策協議会を設け、情報収集などを行った。
8	若桜街道商店街のアーケードが新装（9月）	老朽化していたアーケードの撤去、電線地中化、歩道美装工事が終了。白を基調とした新しいアーケードに生まれ変わり、中心市街地商店街のイメージアップが図られた。9月5日には、近くの遷喬小学校児童による祝賀パレードが行われた。
9	江山浄水場建設着工。一方で工事差し止め提訴あり（5月）	5月2日、鳥取市の新しい上水道浄化処理施設「江山浄水場」の起工式が行われた。一方で、この工事の差し止めを求める住民訴訟が5月28日、鳥取地方裁判所に提訴された。
10	本市で開催された全国中学校体育大会新体操競技（団体）で鳥取北中が準優勝を飾る（8月）	全国中学校体育大会が中国5県で開催され、鳥取市では8月17日～19日に新体操、8月21日～23日に体操競技が鳥取県民体育館で行われた。このうち新体操団体に鳥取北中、鳥大附中、鳥取南中が出場、鳥取北中が見事全国準優勝を飾った。